

全国食生活改善推進員協議会

名誉会員賞 受賞

関幸さん(小山)が、全国食生活改善推進員協議会から、会員在籍5年以上、満90歳の名誉会員として「名誉会員賞」を受賞されました。

関さんは、平成7年度から、市の食生活改善推進員として長きにわたり、地域住民の食生活の改善に尽力されました。特に高齢者の食育に力を入れ、栄養バランスのとれたお弁当を作り、レシピと一緒に配布するなど、積極的に活動されてきました。



坂東市食生活改善推進員のみなさんから花束をいただいた関さん(前列中央右)

坂東清風高・岩井高生

まちをキレイに清掃活動



6月22日、坂東清風高校と岩井高校の生徒による「バypass通り・市役所通り清掃活動」が行われました。

昨年度までは、各学年の生活委員やJRC部、有志の生徒を中心に各学期3回の清掃を行ってきましたが、今年度から、部活動や生徒会の生徒が中心となり、年8回の清掃活動が加わりました。2回目となる今回は、バスケットボール、バレーボール、卓球、柔道、剣道、生徒会の各部の生徒が朝早くに集まり、坂東のまちをキレイにしました。

剣道最高段位八段合格

5月2日、京都市体育館で、「剣道八段審査会」が開催され、岩井剣道教室指導者の井上豊さん(みどり町)が合格されました。

剣道の資格の中で最高段位となる八段の受審資格は、七段を取得後10年以上修業し、かつ、年齢46歳以上の者と定められています。井上さんは59歳にして、383人中、合格者は1人、合格率0.3%の狭き門を見事突破しました。井上さんは、「一つの事を楽しみながら、継続することの大切さを実感しました。支えてくれた方々に感謝です。」と話していました。



小泉地区自主防災会

宝くじ助成で「発電機」新調!

小泉地区自主防災会では、一般財団法人自治総合センターが行っている宝くじの助成金(コミュニティ助成事業)を活用し、災害時に地域住民の避難所となる七郷コミュニティセンターみどりのさとへ「ハイブリット式発電機2台」を整備しました。

同避難所では、発電機を整備したことにより、最低限必要な照明や冷暖房機器を使用することが可能となります。また、災害時の情報収集や連絡手段として欠かすことのできない携帯電話の充電も提供できるようになります。

今回の助成により、災害時の避難所運営など、地域住民が主体となって助け合う、地域防災力の強化が期待されます。



避難所に整備された「発電機」

コミュニティ助成事業とは

宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成しているものです。

